

大会名 Competition	ウインターカップ2023秋田県予選会 女子決勝
NO. M-3	Year Month Day Time 2023 年 10 月 29 日 13 : 00
場 所 Place	美郷町総合体育館リリオス



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB															
秋田中央	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>8</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>23</td><td>3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>11</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	14	1st	8	13	2nd	21	23	3rd	12	11	4th	11	OT			湯沢翔北
14	1st	8															
13	2nd	21															
23	3rd	12															
11	4th	11															
OT																	
61 ○		52 ●															

Crew Chief
佐藤 匠
Umpire 1
谷地 温
Umpire 2
工藤 美香

テーブルオフィシャル: Table officials
角館高校女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	✓	目黒結子	CAP	19	0	8	3	0	4	×	田口青遼	CAP	8	0	3	2	1
5	×	千田穂		9	0	3	3	2	5	×	奈良心海		9	0	3	3	4
6	×	野呂田凧		14	1	4	3	2	6		大山結菜		-	-	-	-	-
7	×	三浦華心		7	1	1	2	2	7		本庄永遠		-	-	-	-	-
8		佐藤心亜		-	-	-	-	-	8	✓	坂本萌依		2	0	1	0	0
9	×	淡路真生		3	0	1	1	0	9		佐藤楓果		-	-	-	-	-
10	×	後藤凜香		9	1	3	0	1	10	×	佐藤晶那		12	0	6	0	4
11		遠間愛		-	-	-	-	-	11	×	黒沢莉香		9	1	3	0	3
12		土谷愛美		-	-	-	-	-	12		山本亜季		-	-	-	-	-
13		奈良璃音		-	-	-	-	-	13		佐藤結奈		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	14		佐々木絵芽央		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	15	✓	阿部未鈴		2	0	1	0	0
				-	-	-	-	-	16	✓	紀本心菜		0	0	0	0	0
				-	-	-	-	-	17	✓	武田知花		2	0	1	0	0
				-	-	-	-	-	18		柿崎愛泉		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	19		草薨こまち		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	20	✓	宮野想来		0	0	0	0	0
				-	-	-	-	-	21	×	鈴木菜奈		8	2	1	0	3
コーチ		門間義範							コーチ		樋渡真樹						
Aコーチ		岸聡子							Aコーチ		齋藤良樹						
		合計		61	3	20	12	7			合計		52	3	19	5	15

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は共に危なげなく勝ち上がった第1シード秋田中央と第2シード湯沢翔北の対戦となった。第1Q、秋田中央の力強いオフェンスに対して湯沢翔北はファウルがかさみ、開始3分で早くもチームファウルが4つを数える。秋田中央は#7三浦が的確なアシストパスを連発し、速攻やフリースローで得点を重ねる。秋田中央の出足の鋭い2-3ゾーンディフェンスに対し湯沢翔北は気持ちよく3ポイントシュートを打つことができず、ペイントエリアでは秋田中央#5千田の高さが気になってシュート精度を欠いてしまう。14-8と秋田中央が先行して第1Qを終える。

第2Q序盤も秋田中央が主導権を握り、ディフェンスリバウンドから次々と速攻を繰り出して21-8とさらにリードを広げる。一方の湯沢翔北も徐々にゾーンディフェンスに対応し始め、ペイントエリアに上手くパスを通して#10佐藤(晶)が次々と得点する。終盤には#21鈴木が連続3ポイントを沈めて一気に試合をひっくり返し、29-27と湯沢翔北が2点のリードを奪って前半が終了。

第3Q序盤は一進一退の攻防となるが、#5奈良や#17武田が速攻からレイアップを決めた湯沢翔北が41-34とこの試合最大のリードを奪う。ここで秋田中央は#5千田が意地を見せ、ローポストからパワープレイで得点すると、勢いづいたチームは#6野呂田と#10後藤の連続3ポイントや#7三浦と#5千田の2メンゲームで加点し、湯沢翔北が残り1:39でタイムアウトを請求するまで14-0のランを作ることに成功する。試合の主導権を取り戻した秋田中央が50-41とリードして第3Qが終了。

第4Q、湯沢翔北は1-2-1-1のフルコートプレスを仕掛け、#8坂本のジャンパーや#5奈良の速攻などで5点差まで迫るが、秋田中央も#6野呂田のプットバックや#4目黒のスティールでしぶとく得点を重ね、逆転を許さない。終盤は両チームとも気迫のこもったディフェンスを見せロースコアの展開となるが、秋田中央は#7三浦がはいりリバウンドを#4目黒が試合を決定づける速攻へとつなげ、61-52で試合終了。試合を通して堅守速攻を貫いた秋田中央がウインターカップ出場権を獲得した。